大阪狭山市立北小学校

1. 本年度の全国学力・学習調査結果の学力の概要について

- ・国語は正答率が全国を大きく上回る良好な結果でした。記述式の問題については、全国よりも正答率が高いものの、課題が見られます。本校で取り組んできた主体的・対話的で深い学びによる授業改善の取組みの成果が表れています。
- ・算数は正答率が全国をやや下回る結果でした。図形や速さを問う問題や、数量関係を捉 えて式に表す問題に課題がありました。
- ・国語、算数ともに無解答率が低く、粘り強く考えようとする姿勢が身についていること が分かります。

2. 各教科における成果と課題について

2. 台软件における风末と味麼に フィー		
	成果	課題
国語	・目的に応じ、話の内容が明確になるように スピーチの構成を考える問題や理由を明確 にしながら、自分の考えが伝わるように書き 表し方を工夫する問題で良好な結果が見ら れました。 ・児童質問紙より「国語の学習が好き」「授業 の内容はよく分かる」についての肯定的な回 答が高く、児童が主体的に取り組んでいるこ とが分かります。	・目的に応じ、文章と図表を結び付けて必要な情報を見つける問題や目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約する問題に課題がありました。
算数	・児童質問紙の算数の授業で問題の解き方や 考え方が分かるようにノートに書いていま すか。」に対する回答は良好で、自分の考えを ノートに書き、発表につなげる授業の成果が 表れています。 ・小数を用いた倍について考え方を記述する 問題は全国よりも良好な結果でした。	・三角形の面積を求める問題や複数の図形を 組み合わせて面積を求める問題、数量関係を 捉えて立式する問題に課題がありました。 ・児童質問紙から「算数の授業は好き」「授業 の内容はよくわかりますか」について全国よ りも肯定的な回答がやや低いため、児童が主 体的に取り組むことができる授業づくりを めざします。

3. 成果と課題を踏まえた今後の取組みの方向性について

(1) 校内研修を柱とした授業力向上

本校では「確かな学力を育む深い学びの創造~『たい』と『あい』があふれる授業をめ ざして~」というテーマのもと、教職員の授業力向上に努めています。各学年1回ずつの 校内研究授業を行うとともに、子どもたちが「考えたい」「話し合いたい」「聞きたい」と 思えるような授業づくりを今後も進めていきます。

また、授業を構造化するために、全ての教科において①前時のふりかえりとめあての共有、②自分の考えを書く時間、③ペア、グループ、クラスで話し合う時間、④ふりかえりという4つの段階を意識して、授業を計画しています。

(2) 単元のゴールからの逆向きの授業設計と言語活動の充実

記述式の問題に課題が見られたため、自分の考えを「書く、話す」の取組みをさらに進めていく必要があります。そのために、各単元で、目標から授業を設計し、単元に沿った言語活動を設定していきます。そして、それぞれの単元で、レポートやリーフレットを書く、学級全体で討論する、グループで話し合うなど、言語活動を通して学んだことを、次の単元に生かしていきます。

(3) 朝の時間を活用した基礎基本の定着

算数の面積や速さなどに課題がありました。そこで、各学年で学習した内容を定着する時間をさらに充実させる必要があります。そのため、朝の時間を活用し、当該学年や前学年で学習したことを復習する時間を設定します。またその際には、タブレットドリルなども活用していきます。

4. 学力向上に関する現在の取組みと今後の改善について

1、学びに向かう環境





すべての子が、学びやすいように一日の 予定や、授業の流れを掲示しています。 また、タイムタイマーの活用や黒板をす っきり使うことで見通しを持ち、不安な く学習に取り組むことができる環境を作 るよう努めています。

今回の結果から、成果の見られた教科と課題の見られた教科がはっきりしていることが分かりました。『北小デザイン』として取り組んでいる「教室・学習環境の整備」「授業のユニバーサルデザイン」「認め合う学級づくり」をどの教科の授業においても意識高く取り組むことができるように努めます。

2、「たい」と「あい」があふれる授業づくり





(1) 考えたくなる課題設定

単元のゴールを明確にした単元計画から、毎時間の授業において子どもが主体的に「考えたい」「やってみたい」「調べてみたい」と思えるような課題設定の工夫をしています。

(2) 自分の考えや学んだことを書く活動

各教科において積極的にノートを活用し書く活動を 継続的に行っています。課題に対して自分の考えや、 学習した内容、ふりかえりを工夫して表現するように 働きかけています。ノートの掲示をしたり、学期に 一度ノート朝礼を行ったり、書く活動の励みとなる 取組みをしています。



(3) 対話的な学びの場面

ペアやグループ、全体で自分の考えを伝えたり、友だちの意見を聞いて考え話し合ったりする場を意図的に設定しています。「伝えたい」と思えるような場になるように問いかけ方や、話しやすい環境づくりに努めています。



今回の結果から、国語に関する質問や問題について良好な成果がみられた反面、算数に対する意欲や、他の教科や学級での話し合いなどで考えを深めたり、広げたりすることに課題がみられました。現在国語を中心に取り組んでいる『「たい」と「あい」があふれる授業づくり』を、どの教科の授業においても取り組めるように努めます。

対話的な学びの場において、自分の考えを表現したり、お互いの考えを共有したりする場面にタブレット端末を活用します。子どもたちが積極的に授業に参加し、粘り強く課題に取り組めるように努めます。

3、基礎基本の定着



朝の時間に「北小タイム」を設定し、読書や漢字の学習に取り組んでいます。漢字の指導については字の形や使い方を覚えやすいように漢字をパーツに分解して、組み合わせや書き方を口に出して唱える「唱え漢字」を取り入れています。また低学年でMIM指導を丁寧に行い、読みのつまずきを早期に発見指導しています。

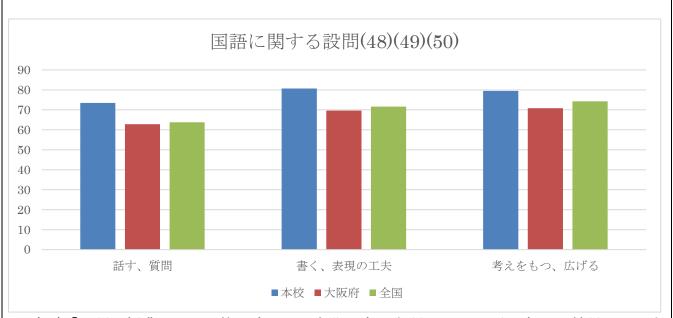


今回課題のあった算数の問題について、基礎的な知識を問われるものがあったことから、 各学年で学習した内容を定着する時間をさらに充実させる必要があります。そのため、朝の 時間の活用方法を見直し、当該学年や前学年で学習したことを復習する時間を設定します。

またその際には、子どもたちが意欲的に自分のペースで取り組むことのできるタブレット ドリルなども活用していきます。

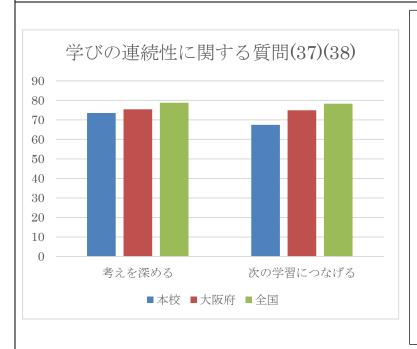
5. 児童質問紙調査の結果の概要について(肯定的評価の割合)

<取組みの成果があらわれていたり、特徴的であると思われる事項について>

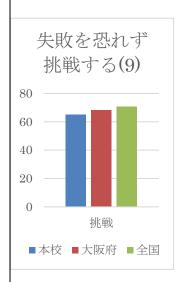


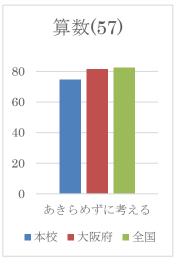
(48)「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする。」(49)「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりする。」(50)「国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、広げたりする。」の質問では、肯定的に回答する児童が多くいました。国語の授業の充実をうかがうことができます。今後も、児童が主体的に学び、友だちと対話を進めながら、学びを深めることができる授業づくりを進めていきます。

<今後に向けて、課題と思われる事項について>



本校の国語に関する質問では、主体的・対話的で深い学びに関して、 肯定的な回答が多くありました。 した。したの方達との方法を した。できる。」(38)「学習したのから活動を通じて、りました。」 (38)「学習したの学習した。」 ができる。」(38)「学習したの学習にて、分かった点やよくの学習にできる。」の質問というができる。」の質問というでは、からにできる。」の授業づくりを、他教ざしていました。というでは、の授業では、かすことをめざしていました。





(9)「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。」の質問に対して、肯定的に回答した児童は、全国平均と比べて 5.8 ポイント下回り解ことがでいるらに、(57)「算数の問題の解すた。さらに、(57)「算数の問題の解すられるないときは、あきらめずに対しては、肯定的な回答が全国では、方が分な方法を考えますか。」の国際を明確にイント下回っていました。様々な場面で、目標を明確にインシーを表していきるという。これまで以上に、励ましていきます。

6. 保護者・児童のみなさんへ

<児童のみなさんへ>

北小学校のみなさんは、将来の夢や希望を持ち、自分の良いところもたくさん認めることができています。また、いじめを許さない気持ちを持ち友達と協力できる人がたくさんいます。これからも自分の思っていることや感じていることを言葉で表し、失敗を恐れずに色々なことに挑戦していってください。

学習については、日ごろから国語の授業のめあてに沿ってしっかり文章を読んだり、感想や考えをノートに書いたり、友だちと話し合ったりした成果が今回の学力学習状況調査にも出ていました。これからは他の教科でも、調べてみたいことや生活に役立てていく方法などを自分から見つけて、本やタブレットパソコンなどを活用しながら学習を深めていってほしいと思います。

<保護者のみなさんへ>

本校の児童は、決まった時間に起きたり寝たりとリズムよく生活できている子が多くいます。また、携帯やスマートフォン、ゲームの使い方の約束を守ることや、使用時間についても全国の回答より良好な結果であることも分かりました。保護者の皆様が心身ともに健やかでたくましい成長を支援していただいていることも、この調査からみることができました。

学校での読書の時間が全国平均より大幅に上回っていますが、家庭で新聞や、本に触れる機会が 少し少ないようです。おうちの方も一緒にそのような時間を作っていただくことで、学びを生活の 中や地域、社会に生かしていこうとする心豊かな人に成長してくれるのではと期待します

学習については国語の教科において大変良好な結果となりましたが、算数においては課題の残る問題や質問紙の回答がありました。今後、課題のあった教科だけでなく、すべての教科において子どもたちの興味・関心を引き出すような課題を設定し、主体的、対話的に参加できるような学習活動の充実を図ります。今後も「心豊かに 夢大きく 一人ひとりが輝く学校」の実現に向け全力で取り組んでまいります。ご支援、ご協力よろしくお願いいたします。